

平成23年度 二宮町協働まちづくり補助金 ～事業報告会～

協働まちづくり補助金の事業報告会が5月20日（日）生涯学習センター「ラディアン」で開催されました。23年度に補助金を受けた団体は、スタート支援3団体・ステップアップ支援1団体でした。交付された補助金をどのような事業に活用し、より良い町づくりに繋げたなどの成果を熱心に各団体の代表者が報告をされました。



～各団体による報告の様子～

また、団体の発表ごとに、審査員である町民活動推進委員会より質疑があり、補助事業の運営や収支決算、また今後の展開等の質問やアドバイスがされました。

なお、下記のとおり委員長より講評があり、報告会は終了しました。

【委員長の講評】

4団体の熱心な事業報告に敬意を表します。先ほどの報告の中でもお話がありましたが、この二宮という町は大磯丘陵に抱かれた里山の緑に覆われております。二宮の象徴でもある吾妻山も昔は松の木が生い茂っていたそうです。ところが、最近は荒れた竹林に覆われてしまい、緑の輝きが失われつつあります。そのようなところで竹の会さんより心強いお言葉を頂きました。この町民活動を推進するという事が有意義である事を痛感致しました。

また一方で二宮は高齢化率が27%を超えています。3万人の人口で8千人が高齢者であります。一人ひとりの町民が元気で過ごしていきたいというのが心の中にあるかと思えます。

自然環境と互いに支え合いながら、誰もが元気で地域と繋がるような、「湘南二宮竹の会」さん。元気な歌と体操での健康づくり「元気の出る歌の会、二宮」さん。そして難聴者の方々へ率先してコミュニケーション作りに励んでいただいている「要約筆記サークル てーくとーく」さん。非常に心を打たれるものがあります。

この町民活動ですが、持続的に繋げていくには、やはり事業の展開が望まれるわけです。スタート支

援では10万円が上限で、2年目からはステップアップ支援で、事業費の2分の1の補助となっております。そのような意味では、二宮では定着しにくい風土があるのですが、サービスはサービスとして対価を求める技術を身につける必要があります。それぞれの団体の皆さまが心を込めて、町民の心に訴えていくような活動を続けていけば、必ずや理解されるだろうと思っております。

また「民設学童保育を支える会」さんでは、私も去年の活動現場を視察させていただきましたが、これからも協働のまちづくりの一旦を担ってもらえるような活動を期待しております。行政が手の届きにくい点は町民活動が察知していただき、確かなまちづくりを作っていただきたいと思っております。



～各団体による報告の様子～



～町民活動推進委員による質疑～

◎平成23年度補助金交付実績

◆スタート支援コース

番号	団体名	事業名	交付実績額
1	湘南二宮竹の会	里山再生事業 (竹林の再生)	91,200円
2	元気の出る歌の集い、二宮	歌と体操による 元気な町づくり事業	77,800円
3	要約筆記サークル 「てーくとーく」	手話のわからない聴覚障害者へ 筆記通訳を行う人達の学習の場作り	88,900円

◆ステップアップ支援コース

番号	団体名	事業名	交付実績額
1	民設学童保育を支える会	民設学童保育所の支援事業	63,100円

二宮町協働まちづくり補助金に関するお問い合わせ
二宮町町民課町民協働班
0463-71-3311 (222)